

送電線線下及び近傍の建造物等の離隔検討が簡単かつスピーディに行え、お客様に対するサービスの向上・所内の業務効率化が図れます。また、送電線路が原因で発生した落雪被害状況を歴史的に管理できます。

特徴

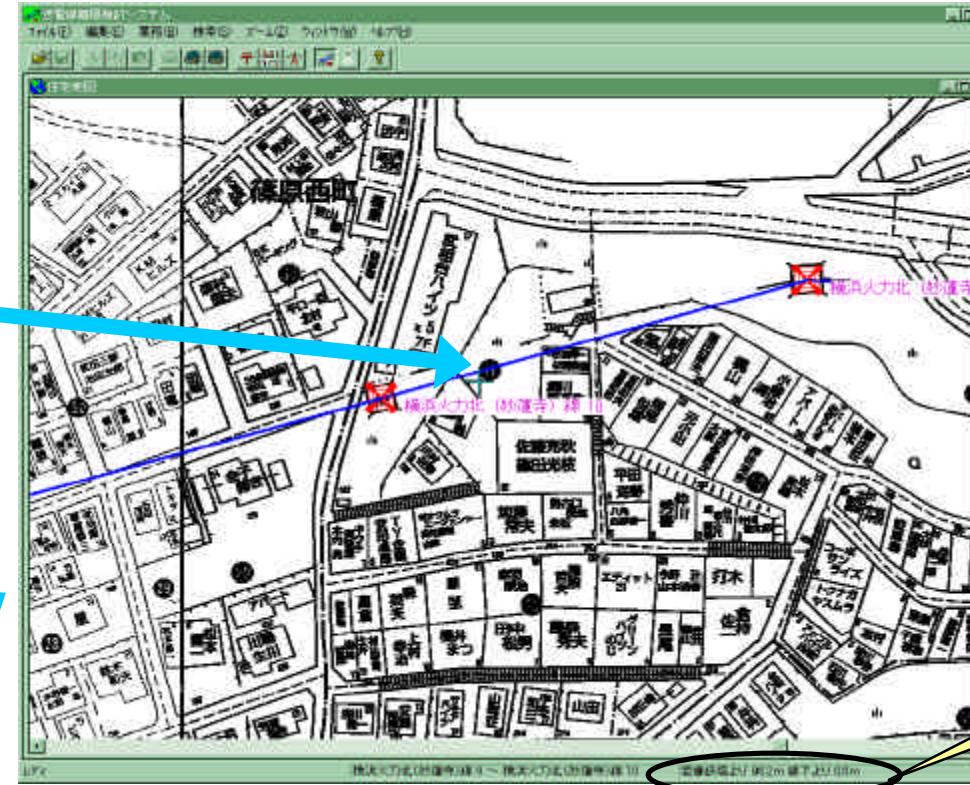
1. 住所、線路名、絞り込みによる地図検索
2. パソコン上での住宅地図の表示とプリントアウト
3. マウスによる建造物の位置指定
4. 弛度・横振れ検討の自動計算（弛度抑制電線対応）
5. 鉄塔立替時の事前健康が可能（支持点高の変更も可）
6. 任意の点の離隔を表示
7. 検討結果の検索及び出力が可能
8. 現地測量の予備データの作成可能
9. 建築確認申請用図面の元図として利用可能
10. 落雪被害状況が時系列的に管理できる

検索方法

1. 住所検索
2. 線路名と鉄塔番号
3. 地図の絞り込み

住宅地図表示

指定場所が画面の中央に瞬時にポップアップ

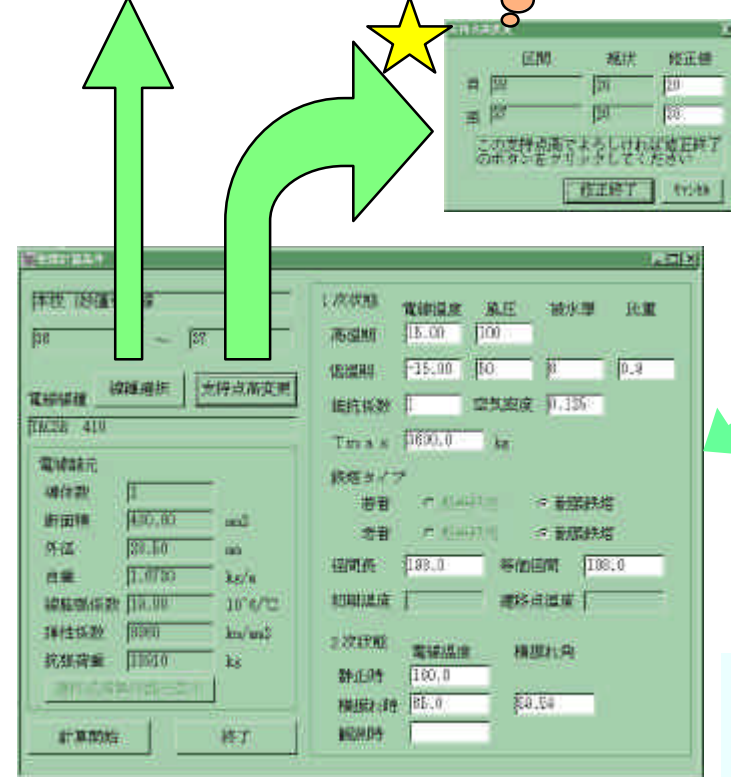
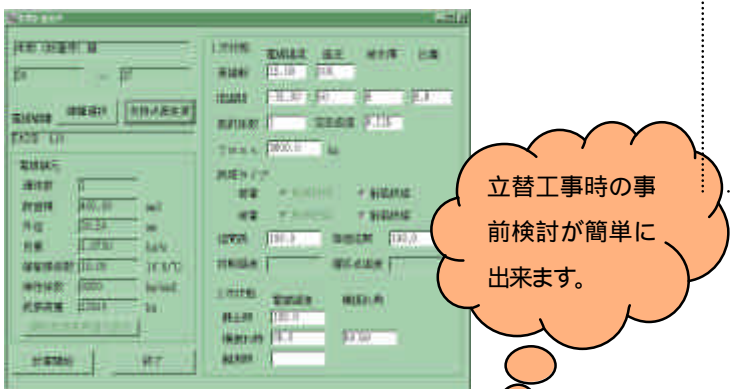


位置指定

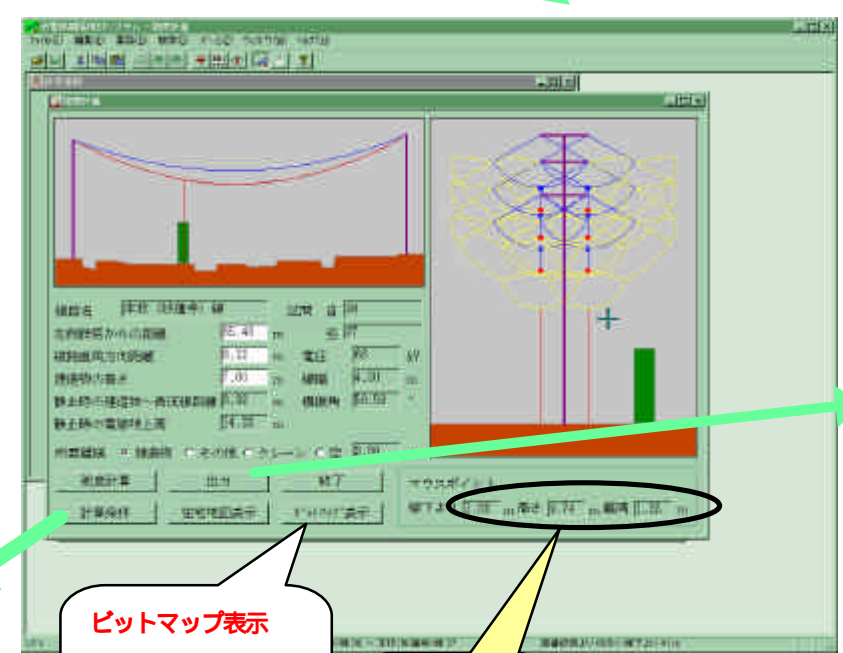
マウスにて検討位置を指定

カーソルの位置により、墓版鉄塔からの距離と線下からの垂直距離を自動的に表示

ダブルクリックで近傍の送電線路を表示



離隔検討

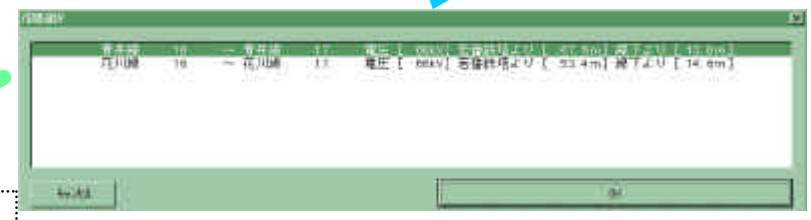


ビットマップ表示
スキャナで取り込んだ縦断面を表示

横振れ図上でマウスにより任意の点の離隔を表示

弛度計算
電線線種、張力等を変え数々のシミュレーションが可能

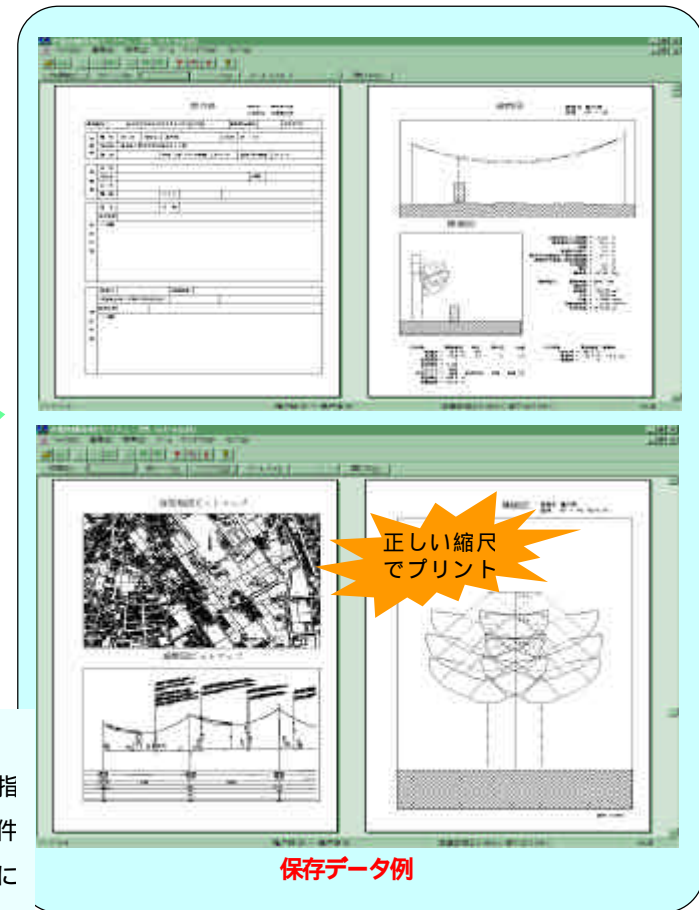
保存データ
受付表は勿論のこと、指定位置座標、弛度計算条件までもが保存され、検索により100%再現可能



落雪被害情報管理

過去登録したデータを自動的に検索表示

落雪被害の履歴を時系列的に管理できます。



保存データ例